



環境と社会のために
JOMOが今、
行っていること
2007

smile life with JOMO





原村・JOMOあゆみの森
(長野県)



高梁・JOMOふれあいの森
(岡山県)



アカマツの実生苗を
近隣の公園に植樹(新潟県)

地域の人たちと共に取り組む森林づくり

2004年に森林ボランティア活動をスタート。

私たちは、2004年から社員ボランティアによる森林保全活動を行っています。ジャパンエナジー石油開発(株)中条油業所(新潟県)構内のアカマツ林を松くい虫の被害から守っています。2005年には、長野県の原村と「森林の里親契約」を結びました。地域の方々と共にCO₂の吸収源となる森林づくりを行い、社員や

その家族がボランティアとして活動に参加しています。

2006年には、岡山県で「NPO法人ふれあいの里・高梁」と「森林の里親契約」を結び、荒廃が進む里山の整備に協力しています。これら3か所の森林において、2006年度は、合わせて7回のボランティア活動を実施し、社員と家族延べ440名が参加しました。

 <http://www.j-energy.co.jp/cp/csr/>



へえ～、
JOMOって
こんなことも
やっているんだ～。

※間伐材で作った「ベンシルトレー」は、全国のValue Styleステーションのキッズコーナー等で使用しています。

鉱山跡地

私たちは「先人に資源の恵みをもたらしてくれた鉱山を、私たちの手で自然の姿に還そう」を合言葉に、新日鉱グループの一員として鉱山跡地の森林再生にも取り組み始めました。



「JOMOバスケットボールクリニック」

私たちはバスケットボールを愛する人々を応援しています。

 http://www.j-energy.co.jp/jomo_clinic/



専任スタッフと子どもたち

障害者スポーツ支援

私たちはクリック募金で障害者スポーツを応援しています。

 http://www.j-energy.co.jp/cp/society/click_tp.php



クリック募金のホームページ



もり 森林を守り、森の恵みを生かして。

木を切ることで森林を育てています。

日本の森林の多くは、資金不足・人手不足で整備が行き届いていないのが現状です。間伐した木材が売れば、その収入で森林整備もできるのですが、輸送コストがかかるため、山から木材運び出すことも困難です。このままだと、「間伐ができず木が生長できない」、「間伐しても、伐採した木を放置せざるをえない」といった状況が続き、その結果、森林が荒廃することになります。



間伐材は製紙原料として有効活用される

私たちは、森林整備活動をきっかけに、こうした状況の改善に貢献し、地域の森林整備支援につながる「3.9ペーパー」※を導入しました。地域の自然環境保護だけでなく、森林整備により、木が生長していくことで、CO₂の吸収率も増え、地球温暖化対策にもつながります。

「3.9ペーパー」を「童話の花束」に。

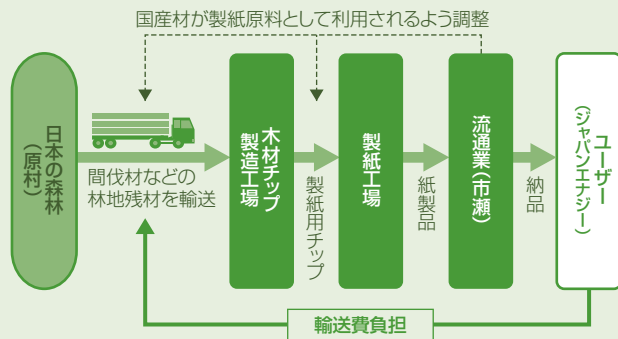
「童話の花束」に使われる「3.9ペーパー」は毎年約72トン。同じ量の間伐材が製紙原料として流通することになり、森林づくりの循環が生まれます。



「JOMO童話賞」への応募の中から優れた作品を掲載する冊子「童話の花束」

※「3.9ペーパー」とは
国産の間伐材を製紙原料に利用する仕組み。紙卸業の株式会社市瀬と王子製紙株式会社が共同で間伐材の有効利用と森林整備に寄与する目的で開発したビジネスモデルです(下図で参照)。

※3.9ペーパーシステム



「童話の花束」が森を守ることにもつながっているのね!



JOMO童話基金

「童話の花束」の売上金をJOMO童話基金として、私たちはがんばる子どもたちの自立を応援しています。

WEB <http://www.j-energy.co.jp/hanataba/>



JOMO奨学助成事業審査委員会

奨学生からの手紙



あなたのすぐそばで、 JOMOのエコ活動が息づいています。

JOMO

車検
机交換
洗車

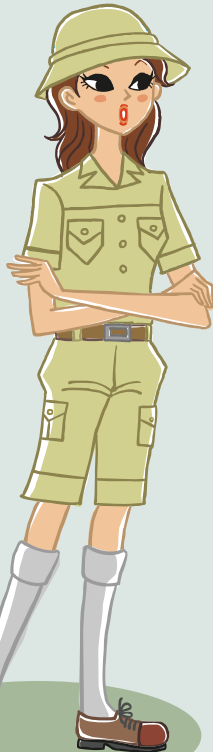
バリュー スタイル
Value Style
ステーションで
エコグッズを
見つけてください。



待ち時間などに
「ホット一息」は
いかがですか？



エンジンオイルの交換で
エンジンもリフレッシュ！
燃費も良くなり、
おサイフにも
エコにもグッド！



ガソリンやオイルは
どこからどのように
届くのかな？

環境に気をつけて
つくられてるの？

ガソリンで
おなかいっぱいになるのは
いいんだけど…
地球にはやさしくつくられてるの？

石油の
エコをさがしに
行ってみよう！





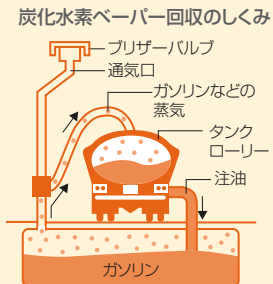
環境と安全に配慮した 製品をお届けするために。



1 石油製品の販売

安全な店舗運営と環境負荷低減に取り組んでいます。

JOMOステーションを建設する際には、消防法令の厳しい安全基準をクリアし、さまざまな設備に堅固な安全対策を講じています。車の出入り部分以外の隣地境界には防火壁を設け、建物にも不燃材を用いて耐火性能を確保。また、石油製品を貯蔵する地下タンクは漏洩を防ぐ二重構造としたうえで、優れた耐震性も確保しています。



環境保全への取組みについては、石油製品の漏洩による土壌汚染の防止策や、大気汚染防止策として炭化水素ベーパー^{*}の回収設備を導入しているほか、交換したタイヤ、オイル、バッテリーなど廃棄物のリサイクルを積極的に進めています。

^{*}炭化水素ベーパー：炭化水素の蒸気。大気中に放散されると、地球温暖化や光化学オキシダント(光化学スモッグ)の原因となる。



2 国内輸送油槽所

JOMOステーションに石油製品を供給する中継基地として、「安全」と「環境」に配慮しています。

輸送手段には、内航タンカーによる海上輸送と、タンクローリーや鉄道のタンク車による陸上輸送があります。油槽所は、製油所で生産された石油製品を受け入れて貯蔵・出荷し、地域のJOMOステーションに供給する中継基地として重要な役割を担っています。

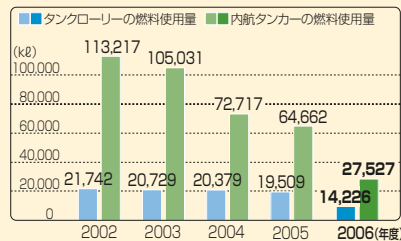


京浜油槽所(神奈川県)

関東地域において、約400カ所のJOMOステーションにガソリン、軽油、灯油のほか、潤滑油やグリスなど石油製品を供給している「京浜油槽所」では、貯蔵タンクやタンクローリー積込設備の改善や、荷役作業時の監視要員による安全監視、引火リスクのある設備の静電気対策や、定期的な防災訓練、運送会社の管理者との定例安全会議(毎月1回)などを実施し、安全管理を徹底しています。

また、輸送に関しても、タンクローリーや内航タンカーの大型化、夜間配送の実施などによって輸送効率を高め、輸送のための燃料消費量を年々削減しています。

燃料油の輸送に係るタンクローリー、内航タンカーのエネルギー使用量^{*}



^{*}2006年度は、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づきエネルギー使用量の算定方法を変更しました。

バイオガソリン

2007年4月から、植物生まれの燃料をブレンドした、環境にやさしいバイオガソリン(バイオETBE配合)の販売(流通実証事業)を開始しました。



バイオガソリン販売 JOMOステーション



バイオガソリンのイメージキャラクター「ものアプロ」

JOMOステーションの環境・安全対策



石油製品を貯蔵する地下タンクは漏洩を防ぐ二重構造です。

^{*}既存の一重殻タンクについては、二重殻タンクへの入替えを推進しています。



原油生産や製品づくりでも 環境・安全活動に取り組んでいます。



精製・備蓄
石油製品生産

環境マネジメントシステムを構築し、すべての製油所、工場においてISO 14001 認証を取得しています。



水島製油所全景(岡山県)

産油国から輸送されてきた原油は、製油所で受け入れています。製油所では、原油をガソリンなどの燃料油に精製するとともに、石油化学製品、潤滑油、LPガスなども製造しています。私たちは、国内3カ所の製油所の操業にあたって、温室効果ガスの一つであるCO₂の削減に向けて省エネルギーに取り組むとともに、大気汚染物質(SO_x、NO_x、ばいじん、VOC)や、精製装置などから排出される油分等の汚濁物質を含んだ水に対する環境対策を講じ、それらの排出抑制にも努めています。

さらに、廃棄物の発生抑制やリサイクル、再資源化などを通じて廃棄物の最終処分量削減に取り組んでいます。

また、製油所・工場などの土壌汚染対策や化学原料のグリーン購入を推進しています。

原油の探鉱・
開発・生産
原油輸送

“産油国との協調発展”と
“地球にやさしいエネルギー開発”
それがエネルギー開発企業の
使命です。

ジャパンエナジーグループは、国内外の油田開発プロジェクトに関わり、地下に眠る原油を探し出す「探鉱」から、生産井の掘削や処理・貯蔵・出荷施設の建設などの「開発」、原油の「生産」までの石油開発事業を行っています。



海上油田

産油国との協調発展を図りながら、原油生産に伴って発生する随伴ガスの抑制や随伴水の適切な処理など、環境保全活動に精力的に取り組んでいます。

また、タンカーで大量の原油を運ぶ際にも、運航技術によるCO₂排出量削減や、船体が損傷しても原油が漏れ出さないようにする二重船殻化(ダブルハル化)など環境保全に取り組んでいます。

あんな所で
原油がとれるのね!

ずいぶん遠くから
来るんだね〜。



廃プラスチックの ケミカルリサイクル

廃プラスチックのケミカルサイクルで資源循環型の社会づくりに貢献しています。



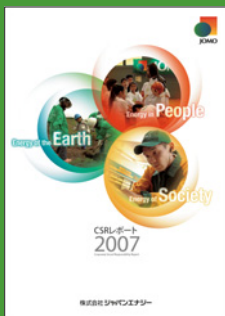
大型タンカーによる 輸送でも 安全と環境に配慮

運搬の安全確保を図る船舶管理システムを導入しています。



大型ダブルハルタンカー「NICHIOH」

さらに詳しい内容は
「CSRレポート2007」と「ホームページ」で、
ご覧いただけます。



CSRレポート2007



ホームページ

 <http://www.j-energy.co.jp/cp/csr/>

お得情報・サービス情報はモバイルサイトからもご覧いただけます。

<http://mo.jomo.co.jp/>



QRコードで簡単アクセス

株式会社 ジャパンエナジー

〒105-8407 東京都港区虎ノ門2-10-1


<http://www.j-energy.co.jp/>

お問合せ先

株式会社ジャパンエナジー CSR推進部

TEL 03-5573-6089

FAX 03-5573-6784

 0120-150-106
(JOMOお客様センター)



この印刷物は、揮発性有機化合物を含まないNon-Vocインキを使用し、環境負荷の少ない「水なし印刷方式」で印刷しています。

ジャパンエナジーは、林野庁が推進する『木づかい運動』を応援しています。
「環境と社会のためにJOMOが今、行っていること 2007 —smile life with JOMO」の制作により、長野県原村の間伐材が製紙原料として活用され、国内の森林によるCO₂吸収量の拡大に貢献しています。